



1 研究テーマ

自分からやってみよう！と思える児童の育成

～「気付く・伝える・チャレンジする・つなぐ」を意識したキャリア教育の実践～

2 今年度の研究の柱

- (1) 全教育活動の中でのキャリア教育の実践
- (2) 振り返り活動とキャリア・カウンセリングの充実
- (3) 校内環境の整備
- (4) 特活パワーアップ

3 スケジュール

月	日	曜日	内容	担当・講師等
4	1	火	三委員会（初回） 「キャリア教育とは（※職員会議でも説明）」「研究の方針・流れ・分担決め」	
4月中			キャリア教育年間指導計画で年間の見通しをもつ。→掲示 ※写真は昨年度のままにして、随時入れ替えていく。	提案：環境部 掲示は各学年
4	2	水	第一回研究全体会 今年度の研究について、学級開き、カリパスについて	研推 特活主任
4	28	月	第二回研究全体会 「キャリア教育に期待すること」 1 キャリア・カウンセリングの実践紹介 2 キャリア・カウンセリングのロールプレイ 3 分科会での話し合い（手立て、研究発表の授業について） 4 今年度の研究に向けてのアドバイス、質疑・応答	講師 文部科学省 調査官 東北大学 教授 長田徹先生 振り返り部
4月～5月初旬			キャリア教育の授業計画 分科会検討・指導案検討（5月授業分科会）	授業部
5	23	金	第三回研究全体会【研究授業①】 1 研究授業（中学年分科会：4年1組「保健」授業者 2 協議会 3 指導講評	先生） 講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生
5月～6月初旬			分科会検討（6月授業分科会） 研推での指導案検討・掲示物の確認	授業部
6～7月			1学期授業観察 キャリア教育の授業を各自1本行う。 分科会で授業を見合い、2学期の研究授業に生かす。	校長・副校長 各分科会
6	18 ※ 目安	水	第三回研究全体会【研究授業②】 1 研究授業（特別支援分科会：6年1組「音楽」授業者 2 協議会 3 指導講評	先生） 講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生
7	18	金	指導案検討① 研究発表に向けての授業づくり・指導案作成	講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生
6～8月			キャリア教育全体指導計画の修正	環境部
7～8月			分科会検討（指導案修正・掲示するものの最終確認）	授業部・各分科会
9	8	月	指導案検討② 指導案の最終調整	講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生

9	初旬		三委員会 「指導案検討会」 2学期の研究発表について各分科会から提案、研推で最終検討	授業者 授業部
9	下旬		・指導課へ指導案送付 ・リーフレット印刷依頼 ・アンケートの分析、成果と課題まとめ	授業部 各部
10	初旬		・掲示完了、校内環境の確認 ・指導案集作成	環境部 授業部
11	6	木	研究発表 1 授業公開 2 分科会ごとの説明会 3 パネルディスカッション	講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生 文部科学省 調査官 東北大学 教授 長田徹先生
11	中旬		事後検討会 研究発表についての振り返りを行う。	各部 各分科会
10～12月			事後検討会	校長・副校長 各分科会
11～12月			研究アンケート（児童用・教員用）の作成・集計・分析	振り返り部
1	21	水	第六回研究全体会 「研究のまとめ」 1 成果と課題について 2 児童の変容について 3 来年度の研究について 4 来年度の研究を進めるうえでのアドバイス	講師 都市大学グループ 総合企画局学事部 専門主幹 渡部 理枝先生
2月～3月			キャリア教育年間指導計画の見直し・修正（2月中） 3学期授業観察 各自1本授業を行う。	環境部
3			常置 「来年度の研究について」 1 テーマ 2 研究内容	

4 組織・分担

(1) 分科会

低学年：1年・2年・養護

中学年：3年・4年・図工

高学年：5年・6年・音楽（算数）

特別支援：五組（サポートルーム）

※1・3学期の授業観察（指導略案）をキャリア教育で行う。（2学期は研究発表を行うため授業観察はなし）
各分科会でA4裏表1枚程度の研究報告を行う。

※研究授業は各分科会で行う。研究授業は指導案を作成する。同じ学年の先生が事前授業を授業観察とする。
同じ部会の先生は研究授業の検討会の内容を生かして授業観察（指導略案）を行う。

(2) 主題にせまるために研推を主体として全校ですすめる ※各分科会（低・中・高・特）が各部会に分かれて入る。

(1) 授業・活動

(2) 振り返り活動&キャリア・カウンセリング

(3) 環境

(4) 特活パワーアップ

★資料は各部で作る

★研推は「研究リーフレット、参考資料」としてそれらをまとめる。

研究の概要が校内や校外の先生に分かるように整理する。

(3) 組織編制・担当

部署	授業・活動	振り返り活動 キャリア・カウンセリング	環境	特活パワーアップ
★リーダー ★サブ	★ (低・2年)	★ (特支) ☆ (低・1年)	★ (中・図工) ☆ (高・6年)	★ (中・4年)
メンバー	☆ (高・5年) ・ (中・3年) (特支)	(中・4年) (高・5年) (高・算数)	(低・養護) (低・1年) (特支)	☆ (高・6年) (低・2年) (特支) (高・音楽)
内容 [担当]	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案フォーマット作成、点検、文字表記についてのお知らせ【 】(4月初め) ・検討会・協議会の進行【 】(全体会などの前までに) ・研究授業のまとめ【 】(授業後1週間以内) ・各教科、領域のキャリア教育のポイント【 】(夏休み中に集約) ・マグネットの活用、キャリア教育の授業について提案【 】(4月) ・自由進度学習、夢の時間割についての提案・実践【 】(提案4月初め・集約夏休み中) ・キャリア・カウンセリング「つみきの視点」での児童・教員のかかわり【 】(4月提案) ・資料作成【 】(夏休み中) ・プレゼン作成【 】(夏休み中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究アンケート(教員用・児童用)の作成・集計・分析【 】(5月・12月に実施、分析) ・QU・生き生き・全国学力調査の質問紙・研究アンケート等の分析【 】(一学期中に過去データで推移をまとめ、夏休み中に分析を行う) ・各教科での振り返りの仕方や実践について提案・紹介【 】(提案は4月、実践のまとめは夏休み中) ・つみきの視点でキャリア・カウンセリングの実践についての集約【 】(夏休み中) ・キャリア・パスポートの提案・点検【全員】(提案4月・点検9月、1月、3月) ・資料作成【 】(夏休み中) ・プレゼン作成【 】(夏休み中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育年間指導計画の作成、見直し、修正【 】(計画4月、見直し夏休み、冬休み) ・学年の掲示板、教室内外と廊下の掲示、校内全体の掲示の有効活用【 】(学年掲示板4月、全体の整備は夏休み中に完成) ・未来づくり科の進捗確認【 】(各月) ・リーフレットの集約、印刷業者との連絡【 】(連絡は一学期中、後のスケジュールは業者に確認) ・資料の集約、QR資料またはガイドブック担当にデータをまとめて渡す。【 】(夏休み中) ・当日の表示等【 】(9月中) ・当日の参加者へのアンケート作成、回収、まとめ【 】(9月中、まとめは11月中) ・保護者への個人情報に関するお知らせ【 】(4月中) ・資料作成【 】(夏休み中) ・プレゼン作成【 】(夏休み中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番・係活動について提案【 】(4月) ・学級活動(1)、(3)の進め方についての研修【 】(4月) ・校内で使える教材の提案【 】(4月) ・クラブ、委員会活動の進め方についての提案【 】(4月) ・自分からすすんで行動する児童を育てるためのしかけ【 】(4・5月) ・キャリア教育初心者ガイド、スタートアップなどをまとめる。予算が業者で製本。※内容については提案。【 】(夏休み中) ・資料作成【 】(夏休み中) ・プレゼン作成【 】(夏休み中)

※ : 全体の確認役、研究の案内作成、プレゼン、資料等の最終調整、研究発表第二部の準備

※名簿・受付簿・来賓・出席者の把握、指導案集などの資料の印刷・製本等は教員支援または副校長アシスタントに依頼

※当日の受付は事務・PTCに依頼

5 第一回研究全体会について

- (1) 今年度の研究について ()
- (2) 研究を深めるための研修
 - ①学級開きについて ()
学級開きで大事なポイント
 - ②キャリアパスについて ()
目標の立て方・振り返りの仕方
- (3) 組織・担当決め (各リーダー)

6 第二回研究全体会について

講演「キャリア教育に期待すること」

(1) キャリア・カウンセリングの実践紹介

※新しいクラスのキャリアパスの中からベストワンを選んで紹介。

持ちあがりのクラスは隣のクラスのもの。

専科、新1年担任は、声掛けて変わった児童の紹介。

- (2) キャリア・カウンセリングのロールプレイ
- (3) 分科会での話し合い (手立て、研究発表の授業について)
- (4) 各部での話し合い (部会での確認)
- (5) 今年度の研究に向けてのアドバイス、質疑・応答

キャリアパスを見て、児童理解を深める。
児童を見取る力をつける。

7 研究発表について

(1) 【研究授業】 13:30~14:15 ※全学級公開

- ・教科は全教科がなるべく公開できるように一学期の研究授業や授業観察も含めて調整する。
 - ・算、国、理、社、生、総、学、道、音、図、保 (体は会場の関係で不可)、外、お (おた未来づくり) の中で調整する。※研究授業の教科は当日除いてもよい。
 - ・各教科の主任は基本的にその教科の授業を公開する。
- ※五組は当日、生活単元を公開する。

(2) 【移動・休憩】 14:15~14:25

(3) 【講演会】 14:25~16:30 ※参加者に所属 (学年、教科等) も聞いておく。

◎第一部 「本校の研究について」 14:25~14:50 (25分程度)

※15:00の講演会への移動が間に合うように終了する。

①発表場所: 低学年【多目的室】 中学年【家庭科室】 高学年【体育館】 特別支援【五組教室】

②発表内容 (15分): キャリア教育とは、キャリア教育目標、年間指導計画や環境整備、キャリア・カウンセリングや振り返り活動、授業について等

③質疑応答 (10分): グーグルForm活用 (タブレット、携帯電話使用可)

◎第二部 「講演会」 15:00~16:30

テーマ【キャリア教育、はじめの一步】 90分

①場所: 体育館

②司会: 藤田晃之先生、パネラー: 長田徹先生、研究主任、教員でパネルディスカッション

藤田先生が司会をして、パネラーが答えていく。※第一部で集めた質問をもとに

長田先生は全国の理論や好事例を中心に、研究主任が本校の研究を中心に教員は初めてキャリア教育をすすめるにあたっての課題や気付きなどについても触れる。

③キャリア・カウンセリングのロールプレイ

④エンドロールで長田先生が作成した本校の研究のあゆみを流す。



研究全体会の一回目ありがとうございました。先生から学級活動についての説明を、先生には学級活動(3)の目標設定についての模擬授業をしていただきました。学活についてのイメージがわいてきたかと思えます。来週から始まる新年度で実践していきましょう。

1 キャリア・パスポートについて

(1) ねらい

小学校から高等学校を通じて、児童生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見通りしたり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につながるもの。教師にとっては、その記述をもとに対話的にかかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導・支援に資するもの。(文科資料より抜粋)



子どもが自分の成長や学びのつながりを感じ、自分の目標に向かって頑張ろうという意欲につながるためのファイル。指導者が児童がよりよい成長に向かってキャリア・カウンセリングをしていくときの資料となるもの。

(2) 綴じるもの

- ①表紙 (データは研究→R7→キャリア・パスポート)
- ②めあてカード(学年ごと) A4サイズ(低学年両面) (データは研究→R7→キャリア・パスポート)
- ☆担任からのコメント(学期ごと) ☆保護者からのコメント(学期ごと)
- ※今年度から、あゆみの所見欄は、このシートへのコメントに統合されます。

③行事

- ・運動会
- ・展覧会又は学芸会※写真を載せる

④キャリア教育年間指導計画で中心としている活動の成果物

- ☆その他に...
- ・2年生は生活科の自分の成長を振り返る単元の成果物
- ・6年生は将来に向けての学習の成果物を綴じる

キャリア・パスポートに綴じるものは、キャリア教育年間指導計画に、やっぴーマークがついています！各学年の掲示板でご確認ください。※実態に合わせて変更可

(3) 確認事項

- ①キャリア・パスポートに上記のものを綴じる。
- ②あゆみと一緒に学期ごとに持ち帰る。その際、保護者の方にコメントを記入していただく。※必ず年度内に全員回収する。
- ③指導者がキャリア・カウンセリングを適宜行う。※キャリア・パスポートに綴じるものについては担任がコメントをしてから児童が綴じるようにする。

2 キャリア・カウンセリング 「つみき」の視点

キャリア・カウンセリング=教師の意図的・対話的な関わり

日々の授業や行事、生活などの指導の中で、子どもたちのキャリア・パスポートや振り返りなどへのコメントでキャリア・カウンセリングをしていきましょう！

キャリア・カウンセリング

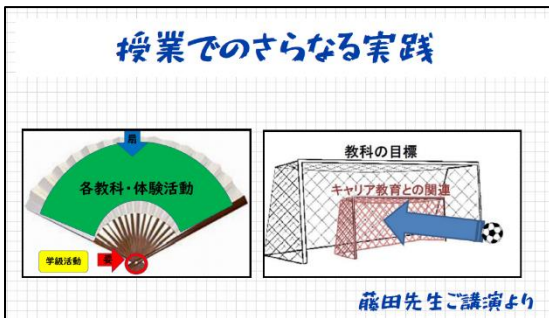
具体的に!
安心感や自信をもたせる
自己理解を促す

つなげる 目標 学び 人
みとめる がんばり 気持ち
きづかせる よせ 課題

「つみき」の視点で児童にガイダンスとカウンセリングをしていきましょう。くわしくは、第一回全体会資料参照もしくはデータ参照(研究→R7→キャリア・カウンセリング)



3 キャリア教育目標を意識した授業・活動



学級活動を要としてキャリア教育をすすめる上でも、日々の教育活動の充実が不可欠です。教育活動全体でキャリア教育をすすめていきましょう。

その際、大切なのは教科やその活動のねらいを達成することです。そのねらいとキャリア教育との関連をしっかりと捉えて指導していきましょう。

廊下に掲示してある年間指導計画を参考にマグネットを活用してキャリア教育目標を意識した授業をしていきましょう。

※マグネットが各教室にあるかご確認ください。

ない場合は環境部の先生へ！



4 教室環境について


各教室の掲示物

全学級、教室内

- 1 学校教育目標
- 2 キャリア教育目標
- 3 クラス目標
- 4 ○年生のめざす自分
- 5 生活指導部提案の物
(後ろの棚にキャリア・パスポート)

教室の廊下(発表当日)

一学期の年計に載っているものから学年で一つ選び、その成果物を貼る。
誤字・脱字、人権に関わることをしっかり指導しておく。



4の指導の略案は第一回全体会の模擬授業と資料を参考にしてください。保護者会までに掲示してあるとよいです。(1年生は平仮名の学習を終えてから)

係・当番などの掲示物は先生から出していただいた資料、後日、特活パワーアップ部から提案されるものを参考にぜひ、こどもたちと相談しながら工夫して実践してみてください。

5 特活パワーアップ

特活パワーアップ部と特活部とで連携しながら進めていきます！特活部からの提案もご参照ください。

新年度、気持ちを新たに登校してきたこどもたちと一緒に楽しみながら、「自分からやろう！」というこどもたちの気持ちを高め、係、当番などの学級活動、そしてクラブ、委員会など、特別活動を盛り上げていきましょう。





本年度、二回目の全体会です。今年の研究テーマやについて長田徹先生の演習やご講演から学び、今年度の実践に活かしていきましょう！！

第二回の研究全体会について

日時 4月28日(月) 13:30~15:45

場所 図書室

テーマ「キャリア教育に期待すること」

式次第

- ー 校長挨拶
- ー 年間の計画
- ー キャリア・カウンセリング実践共有
- ー 講師紹介
東北福祉大学教授
長田 徹先生
- ー 今年度の研究についてのアドバイス
- ー 各部での話し合い
- ー 質疑応答
- ー 謝辞

☆先生方のキャリア・カウンセリングの実践紹介☆
新しいクラスのキャリアパスの中から「ベストワン」(1枚のシート)を選んで紹介してください。持ちあがりのクラスは隣のクラスのものを紹介してください。

専科、新1年担任は、声掛けで変わった児童の紹介をしてください。

☆キャリアパスを見て、児童理解を深め、児童を見取る力をつけていきましょう！

研究部 ~役割分担~

- 大型TV・コード類・名札()
- 資料印刷・次第・ホワイトボード()
- 机・椅子・お茶・ポット()
- 講師依頼・連絡等()



研究全体会は、どうでしたか。長田先生のお話を聞いて、私はまたキャリア熱がアップしました。みなさんも気温と共にキャリア熱は上がってきたでしょうか。研究テーマのように私たち自身も長田先生のお話をヒントに「自分からやってみよう！」を大切にしていきましょう。

研究会に参加する方にもキャリア教育のよさが伝わるようにしたいと思っています。その一つとして資料について提案いたします。

1 研究リーフレット（レイアウト案）

カラー6ページ（3つ折り）

【表紙】

【裏表紙】

<p>学校名 研究テーマ・説明</p> <hr/> <p>やっぴーイラスト こどもの写真など</p> <hr/> <p>はじめに 校長</p>	<p>キャリア教育とは</p>	<p>研究のまとめ (振り返り部の担当)</p> <hr/> <p>資料のQRコード (環境部の担当)</p> <hr/> <p>ご指導いただいた先生方</p> <hr/> <p>研究に携わった教員</p>
---	-----------------	---

【中1】

【中2】

【中3】

【中4】(中3裏)

	<p>授業部 (資料担当)</p> <hr/> <p>特活パワーアップ部 (資料担当)</p>	<p>環境部 年計 (資料担当)</p> <hr/> <p>環境部 校内環境(教室、掲示板) (資料担当)</p>	<p>振り返り活動 (資料担当)</p> <hr/> <p>キャリア・カウンセリング つみきの視点 (資料担当)</p>
--	---	---	--

2 キャリア教育スタートアップガイド(案)

<p>はじめに 藤田晃之先生から(交渉)</p> <p>第1章 「キャリア教育って?」</p> <p>第2章 「ほめ言葉を共有する」 めざす児童像=キャリア教育目標</p> <p>第3章 「計画を立てよう」 校内研究の進め方 キャリア教育全体計画 キャリア教育年間指導計画</p> <p>第4章 「全教育活動でのキャリア教育」 授業の中のキャリア教育 探求的な学び 事例紹介</p>	<p>第5章 「つみきでかかろう」 振り返り活動 キャリアカウンセリング</p> <p>第6章 「見える化しよう」 環境整備</p> <p>第7章 「特活パワーアップ」 学級活動 委員会・クラブ 行事</p> <p>おわりに 長田徹先生から(交渉)</p>
---	--



今年度、一回目の研究授業です。研究推進部より提案授業を行います。研究テーマである「自分からやってみようと思える児童の育成～『気づく・伝える・チャレンジする・つなぐ』を意識したキャリア教育の実践～」や、教科の目標とキャリア教育目標との関連やキャリア・カウンセリングなどについて皆さんで考えながら、協議をし、日々の授業に生かしていきましょう。

第三回研究全体会について

5月23日（金）13：30～15：45

研究授業 研究推進部提案授業

授業者 4年1組 主任教諭

体育科保健領域「体の発育・発達」

研究授業【時間】13：30～14：15【場所】4年1組教室

協議会【時間】14：25～【場所】図書室

【持ち物】指導案・筆記用具・タブレット

【研究テーマ】

自分からやろう!と思える児童の育成

～「気づく・伝える・チャレンジする・つなぐ」を意識したキャリア教育の実践～

授業終了後から協議会までの10分間でオクリンクプラス6年10組の6時間目「研究推進委員会提案授業【協議会】」に意見を打ってください。

第三回研究全体会

式次第

- 校長挨拶
- 講師紹介
筑波大学人間系教授
藤田晃之先生
- 自評
- 研究推進部提案
- 協議会
- 指導講評
- 質疑応答
- 謝辞

研究部 ～役割分担～

- 大型TV・コード類・名札（ ）
- 資料印刷・次第・ホワイトボード（ ）
- 机・椅子・お茶・ポット（ ）
- 講師依頼・連絡等（ ）
- 司会（ ）

協議会のグループ

★が司会 記録は各自もしくはグループで分担

- A ★
- B ★
- C ★
- D ★



A4表のみ1枚

研究授業報告

※A3に拡大したものを職員室前掲示板に貼る。

先日は第 回目の研究授業がありました。先生、分科会の先生方ありがとうございました！授業や全体会の様子を改めて報告します。

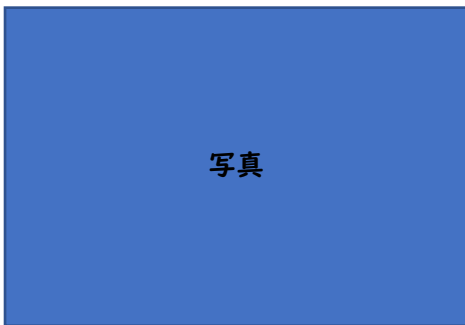
研究授業 分科会

月 日 () 教科「单元名」 授業者 年 組 教諭
講師 先生

1 本時の目標

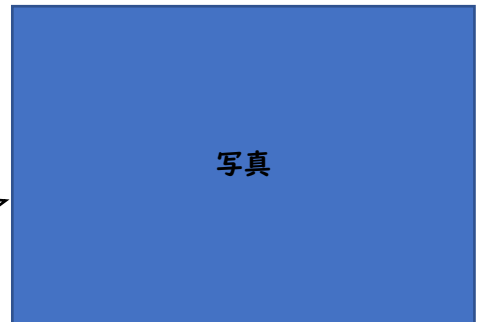
2 キャリア教育目標との関連 (キャリア) ★

3 授業の様子



手立てについての説明
を入れる。

手立てについての説明
を入れる。



【授業者自評】
短く2行程度

協議会の視点
|

成果
簡条書きで3つ程度

課題
簡条書きで2つ程度
課題には改善策も載せるとよい。



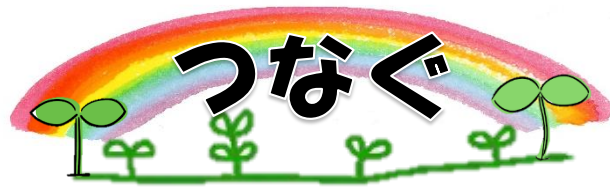
研究推進委員会からの提案授業や藤田先生の講話から、どんなことを考えたでしょうか。ここの学びをすぐに日々の指導へ還元していきましょう！

まもなく授業観察を行う先生もいらっしゃる時期ですね。当日の教科の授業に関して、教材研究をしっかりとっていきましょう。

当日の研究発表の授業と授業者についての確認をします。以下の表をご確認ください。

学級	教科	授業者
1年1組	算数科	
1年2組	外国語活動	
2年1組	道徳科	
2年2組	生活科	
3年1組	図工科	
3年2組	総合的な学習の時間	
4年1組	社会科	
4年2組	学級活動（1）	
5年1組	国語科	
5年2組	理科	
6年1組	学級活動（3）	
6年2組	おおた未来づくり科	
五組	生活単元学習	

※当日授業発表のない先生方は、記録写真や会場運営をお願いいたします。



研究授業報告

先日は研究推進部提案の研究授業がありました。先生、研究推進部会の先生方ありがとうございました。授業や全体会の様子を改めて報告します。

研究授業 研究推進部会

5月 23日(金) 体育科保健領域「体の発育・発達」

授業者 4年1組

主任教諭

講師 筑波大学 人間系教授 藤田 晃之 先生

1 本時の目標

- ・発育には個人差があることを理解する。
- ・課題解決のために、考えたことを友達に伝えることができる。

2 キャリア教育目標との関連 (キャリア気伝)★

本単元は学習指導要領の内容の取扱いにも「自分と他の人では発育・発達などに違いがあることに気づき、それらを肯定的に受け止めることが大切であることについて触れるものとする。」と示されているように中学年の気づく力「自分らしさに気づくことができる」と関連が深い。また、課題解決に向けてそれを表現することをねらいとしていることから、伝える力「自分の考えを分かりやすく伝えることができる」とも関連が深い。

3 授業の様子

教師と児童、そして児童同士の
キャリア・カウンセリング

ガイダンスやカウンセリングで一人一人の発言を受け止め、価値づける。

オクリンクプラスの活用や、ロールプレイの活動をし、自分の考えを伝える。



【授業者自評】

評価のことも考慮しオクリンクを使用した。時間はかかったが、本時以降にも提出箱の中で共有できるよさがある。お悩み相談では、個々の発達の状況に配慮した指導が必要である。

協議会の視点

- 1 教科の目標にキャリア教育の目標の「伝える力」「気づく力」は、つながるものであったか。
- 2 キャリアカウンセリングとガイダンスによって児童にどのような変容があったか。

成果

- アンケート結果をカテゴリに分け見通しをもたせた導入や、児童が認められたと感じる板書は、キャリア教育として重要。
- 児童はグループ活動の中で、「伝える」ことを意識して意欲的に取り組んでいた。

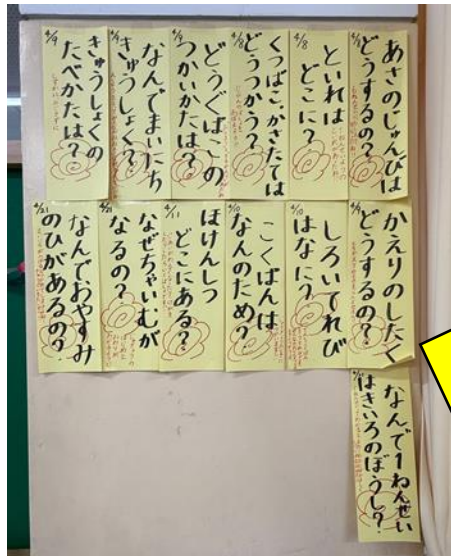
課題

- 教科の目標とキャリアの重なりを指導することはできていたが、何を振り返りさせるかは、もう少し焦点化できるとよい。
- タブレットの活用の仕方はスムーズではあったが、入力時間も含め、活用場面を吟味することが必要。ロールプレイや振り返りの時間を十分に確保したい。



日々のキャリア教育の取り組みありがとうございます。今号では、先生方の素敵な取り組みを紹介します。

1 課題意識



(1) 児童の「？」を大切にする

児童の「何でだろう?」という疑問をもとに学習や生活へとつなげていく。

児童の探求心を大切にしていくと、もっと知りたい、学びたいにもつながっていきます。



(2) 児童の疑問から問をつくる

児童の疑問や不思議に思っていることを出し合い、それを分類して問を作っていく。そしてそれを解決していく。

探求的な学びは児童の学習への内発的動機づけにつながります。

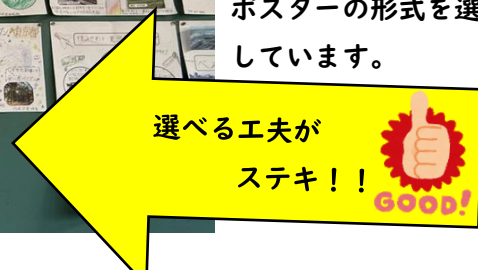


2 表現の工夫



児童が選べるまとめ

児童が自分の表現したいことに合わせて、ポスターの形式を選んだり、伝えたいことを工夫したりしています。



3 学びと生活のつながり



(1) 児童の思いを形にする

「運動会が晴れるといいな。」天気を心配する児童の思いを受け止めて、みんなでてるてる坊主を作って飾る。こういったやり取りも行事への意欲につながります。

みんなでやってみるのがステキ!!



4 学びの軌跡



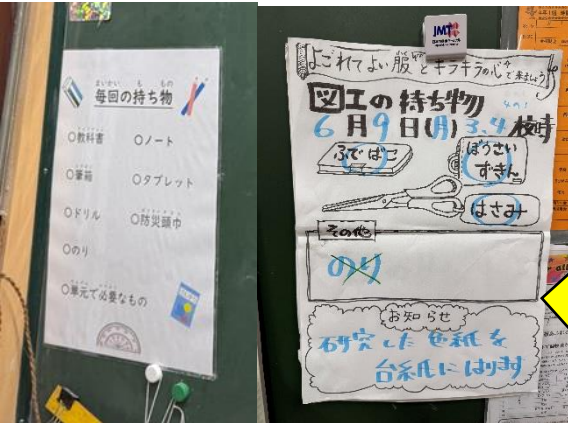
(1) 学びのポイント

今学習していることのポイントが可視化されていることは児童が考える際のヒントとなります。

学習ポイントの掲示がステキ!!



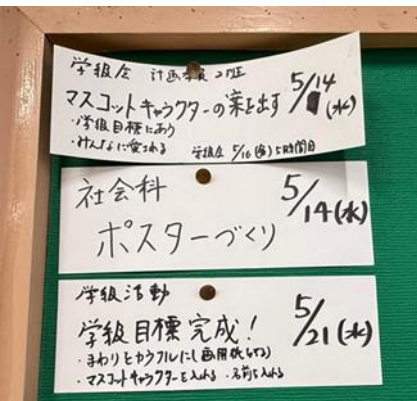
4 規律



(1) 持ち物の確認

学習用具がしっかりとそろっていることで全員が学習をスタートする体制が整います。

持ち物が分かってステキ!!



(2) やることリスト

いつまでに何をしなくてはいけないか、児童が自分たちで計画的にすすめるためにリスト化し、掲示してあります。

期限が分かってステキ!!





今年度、二回目の研究授業です。高学年分科会による授業です。授業観察も始まります。前回と今回の研究授業を通して、教科の目標の中にあるキャリア教育の目標との関連についてや、キャリア・カウンセリングについてさらに理解を深めていきましょう。

第四回研究全体会について

6月18日(水) 13:30~15:45

研究授業 高学年分科会研究授業

授業者 音楽専科

主任教諭

音楽科「ボイスアンサンブルをつくろう」 6年1組

研究授業【時間】13:30~14:15【場所】音楽室

協議会 【時間】14:25~ 【場所】図書室

【持ち物】指導案・筆記用具・タブレット

【研究テーマ】

自分からやろう!と思える児童の育成

~「気づく・伝える・チャレンジする・つなぐ」を意識したキャリア教育の実践~

授業終了後から協議会までの10分間でオリンピックプラス6年10組の6時間目「高学年分科会提案授業【協議会】」に意見を打ってください。

第三回研究全体会

式次第

- 校長挨拶
- 講師紹介
筑波大学人間系教授
藤田晃之先生
- 自評
- 研究推進部提案
- 協議会
- 指導講評
- 質疑応答
- 謝辞

研究部 ~役割分担~

- 大型TV・コード類・名札 ()
- 資料印刷・次第・ホワイトボード ()
- 机・椅子・お茶・ポット ()
- 講師依頼・連絡等 ()
- 司会 ()

分科会 ~役割分担~

※授業の分科会で割り振る

- 授業者 ()
- 提案 ()
- 指導案印刷・配布 ()
- 写真 ()
- 記録・授業報告作成 ()

☆研究全体会の内容をふまえて、その週に事後研究を10分~15分程度行う。

協議会のグループ

★が司会 記録は各自もしくはグループで分担

- A ★
- B ★
- C ★
- D ★



指導案提出までの流れ

○研究発表当日の指導案を作成する。

フォルダ・・・研究⇒R7年度⇒指導案⇒指導案（研究発表用）

⇒①型 ②★ここから作成 型 例 ③★ここから作成 型 枠のみ

① で確認し、②③のいずれかの型を使って作成する。

○学年、分科会で指導案を見合い、チェックする。

- ・内容
- ・誤字・脱字、型に沿って作られているか。

○フォルダの中に保存し、紙ベースでも提出（ ）

第一稿締め切り 7月 4日（金）

○授業部でチェックする。

○各自返却された指導案を修正し、再提出する。

フォルダの中に上書き保存し、紙ベースでも提出 赤の入った第一稿も提出（ ）

第二稿締め切り 7月10日（木）

○授業部で再チェックする。

○修正のある場合は再提出する。

フォルダの中に上書き保存し、紙ベースでも提出 赤の入った第一稿、二稿も提出（ ）

第三稿締め切り 7月 16日（水）

○藤田先生からのご指導を受け（7/18）、訂正したものを各自提出する。（ ）

第四稿締め切り 7月 31日（木）

○研推長・管理職が確認。

9月 8日（月）まで

○研推長より指導課に提出⇒戻り次第、各自修正・提出（締め切りについては後日連絡）

矢東研究だより

先月は、研究推進部から提案授業をしました。大切にしたのは児童の興味関心から課題や計画を作っていくこと。「探求的な学び」です。授業の中に「探求的な学び」の視点を入れていくと、授業中でのキャリア教育や本校の目指している児童の「自分からやってみよう」につながります。まずは、今号で探求的な学びについて紹介します。

1 「探求的な学び」とは？

児童が自ら問いを見付け、主体的に課題を解決していく学習プロセス。

→本校の研究主題「自らやってみようとする児童の育成」とマッチ！

※学習指導要領にも明確に位置付けられています。

「総合的な学習の時間」はその中核！また、「おおた未来づくり」でも「探求」が位置付けられている。

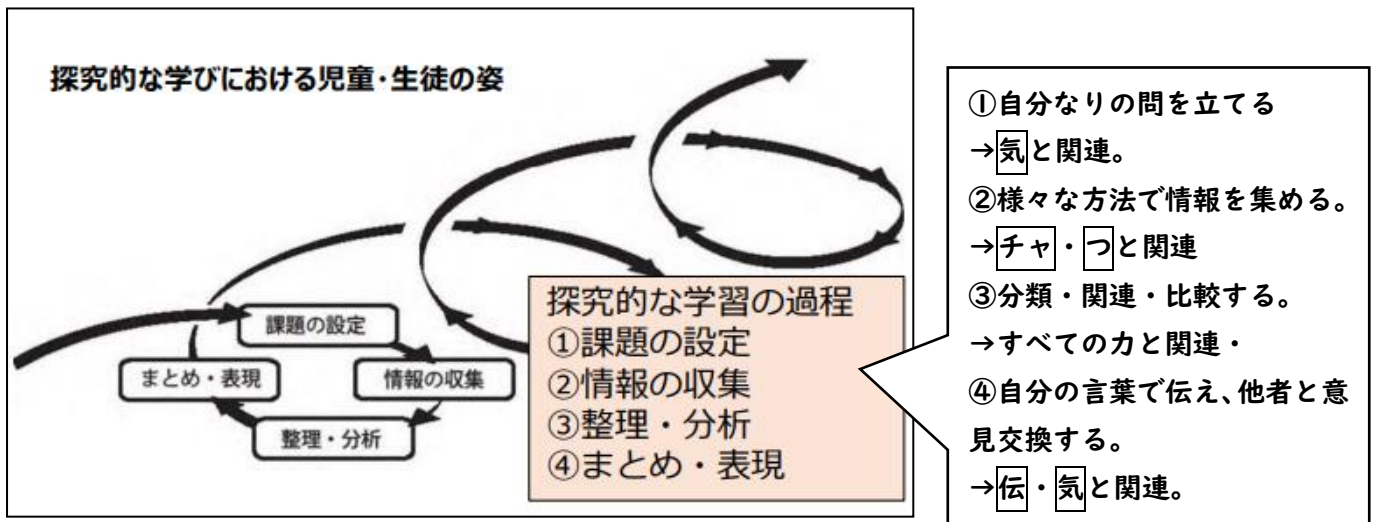
2 「探求的な学び」の必要性

変化が激しい現代社会において、正解が一つではない課題に直面することが増える。このような時代を生き抜くための資質・能力を育むことが求められている。

→まさにキャリア教育！

※文部科学省からキャリア教育の推進においても探求的な学びが重要な役割を果たすと言われている。

3 「探求的な学び」のプロセス

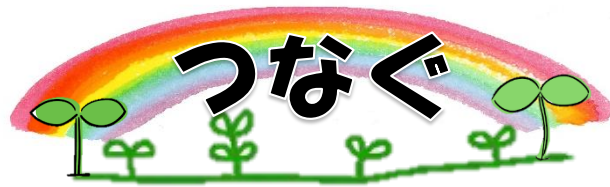


※文部科学省 HP より抜粋

4 「授業」の中で探求的な学びを全学級、専科でも

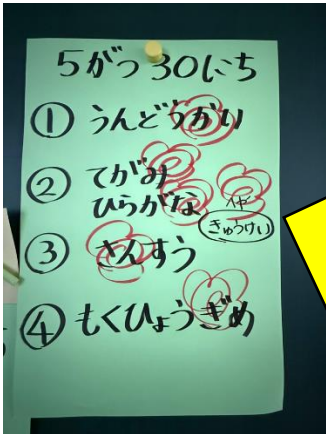
例えば、生活科や総合的な学習の時間、おおた未来づくり科、社会科、理科など学習活動そのものが探求になっている。算数、国語なども探求的な学びを取り入れると児童の主体的で協働的な学びにつながる。

5 事例紹介 裏面に4年生の学年で行った学年会と総合的な学習の時間の導入の板書を紹介。



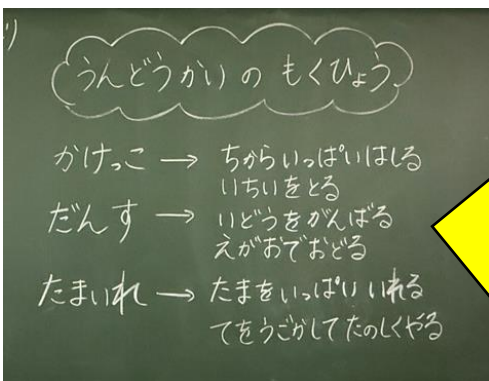
振り返り&キャリア・カウンセリングの取り組みありがとうございます。今号では、先生方の素敵な取り組みを紹介します。

1 キャリア・ガイダンス



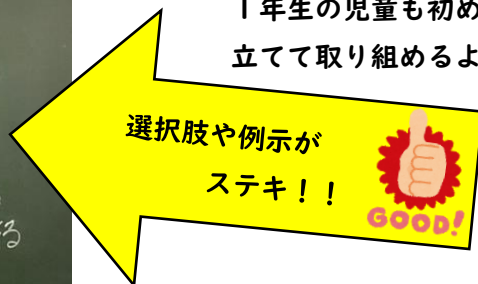
(1) 時間割で褒める

時間割で見通しを持たせるとともに、できたことを全体の場で価値付けすることで児童のやる気につながります。



(2) 目標を立てる

1年生の児童も初めての運動会でめあてを立てて取り組めるように工夫しています。



2 キャリア・カウンセリング

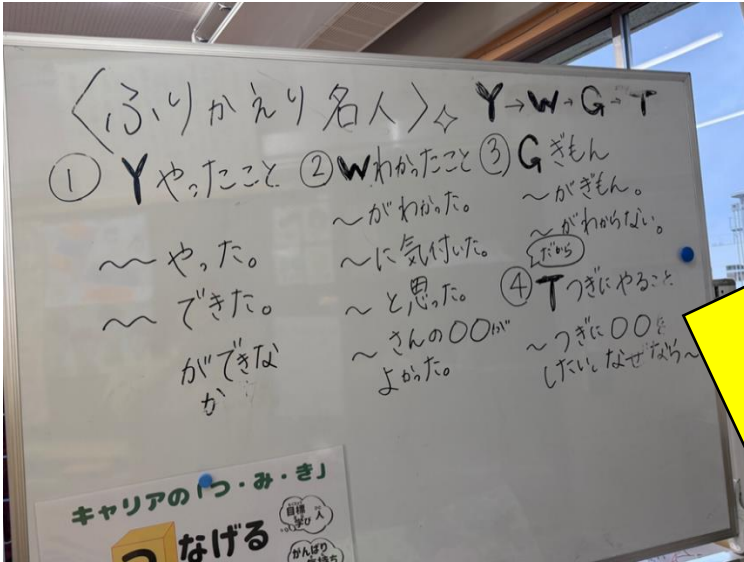


目標へのカウンセリング

児童が立てた目標に対してのカウンセリングも行うことで、児童のやる気や課題意識、実行力が高まります。



3 振り返り活動



(1) 振り返りの視点の提示

どのような視点で振り返るとよいか、児童に視点を与えることで、振り返りをする力がのびていきます。

視点の提示が

ステキ！！



(2) 振り返りを共有する

この活動を通して、どのような力がついたか、皆の思いを共有しています。

また、これを掲示しておくことで日常生活や次の行事に生かしていこうという気持ちも高まります。

振り返りが

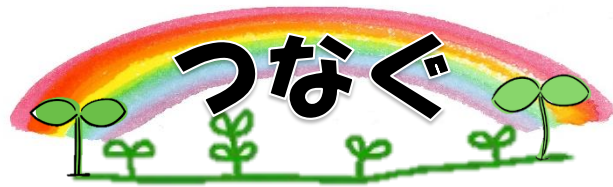
ステキ！！



(2) ついた力を焦点化する

シールを使い、特にこの時間どんな力がついたかを振り返ります。

はじめは、シールの柄で選んでいた児童も、キャリア・カウンセリングにより段々と、ねらいや自分の課題や成長に合ったシールが選べるようになってきました。



環境整備の取り組みありがとうございます。今号では、先生方の素敵な取り組みを紹介します。

1 研究に関わる教室掲示



(1) キャリア教育目標

児童と目標を共有！

(2) 「つ・み・き」

児童同士のキャリア・カウンセリングも！



(3) マグネットの活用

キャリア教育目標のロゴだけでなく学年目標もマグネット化して、授業の中で意識付けしようとする工夫が見られました。



授業で活用できて
ステキ！！



2 教室環境



(1) ユニバーサル・デザイン

整理整頓された教室で児童の集中力 UP！

掲示物や机、棚などすっきりとした教室だと、児童も安心して落ち着いて過ごせます。

すっきりしていて
ステキ！！



(1) 机の配置の工夫

児童同士が活発に意見を交流できるようにするために、机の配置を活動に合わせて工夫できるとよいです。

コの字型が
ステキ！！



3 掲示物



(1) 掲示の仕方の工夫

丁寧な掲示は児童の作品が大切に扱われていることが伝わります。

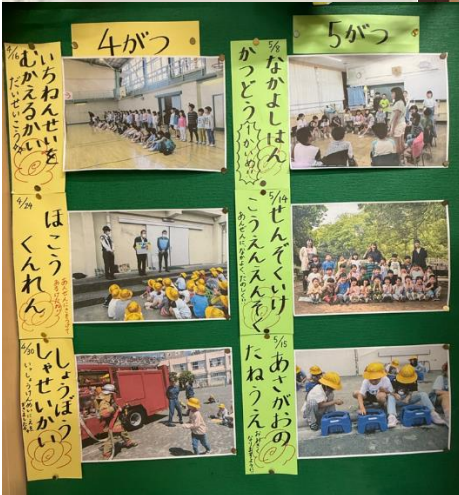
細渕さん作のランドセルと帽子が素敵！

かざり付きで
ステキ！！



(2) 活動の記録

どんな活動をしたのかが分かる写真と説明で児童が自分たちの活動を振り返ることができます。



コメントや花丸が
ステキ！！



4 廊下掲示



どんな活動をしたのかが分かる写真と説明で児童が自分たちの学習や他の学年の様子を共有でき、どのような学習をするのがイメージしやすくなります。

写真や成果物が
ステキ！！



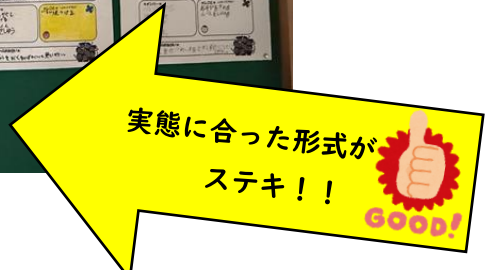
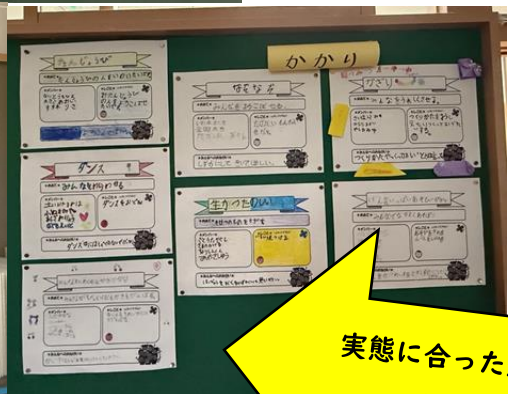
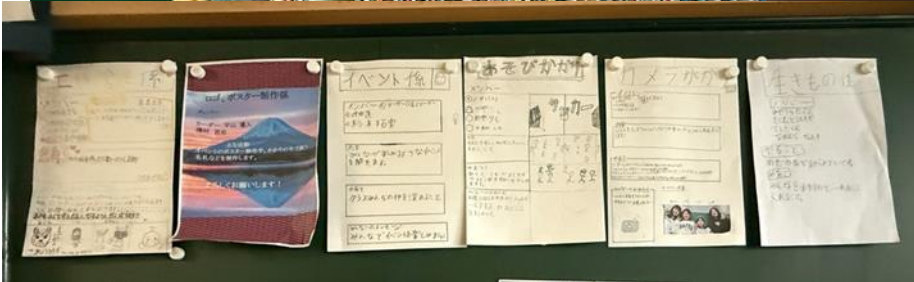
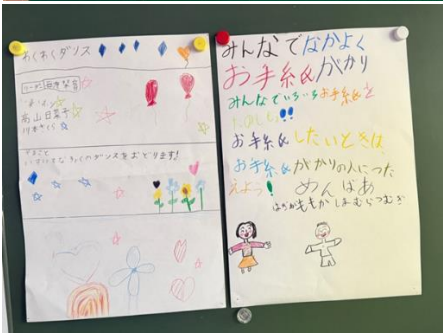


特活パワーアップの取り組みありがとうございます。今号では、先生方の素敵な取り組みを紹介します。

1 係活動

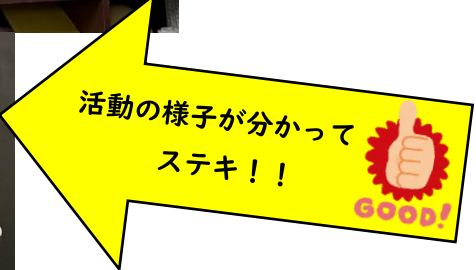
(1) 係の紹介カード

どんな係でどんなことをしていくか児童が目的意識をもって自治的に進めていくために、はじめのこのカードは大切です。低学年のうちは、型が合った方が書きやすいです。

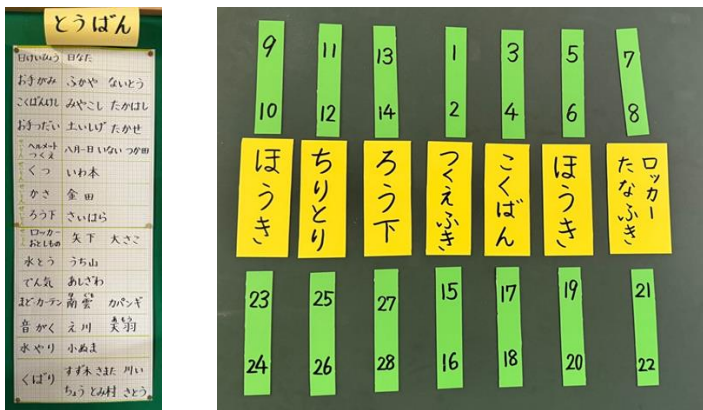




(2) 係の活動の様子を紹介
 児童の活動の様子を紹介したり、
 褒めたりすることで、
 児童の活動が活性化します。



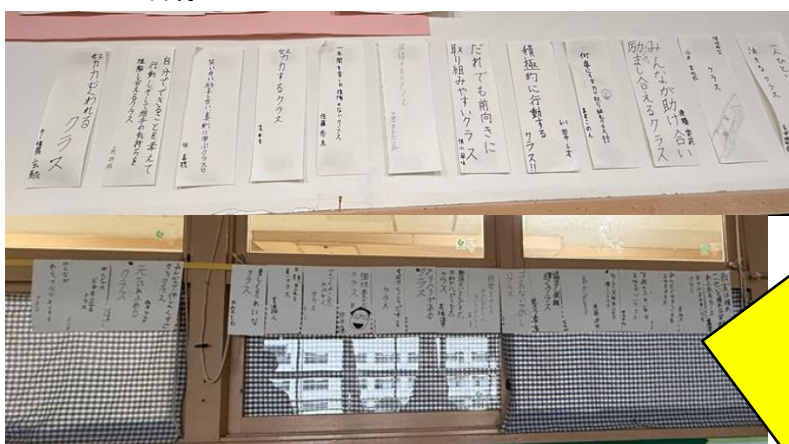
2 当番活動



(1) 当番や役割の掲示
 自分が何をすべきかが、掲示されていると
 児童も自分から行動しやすくなります。



3 クラス目標



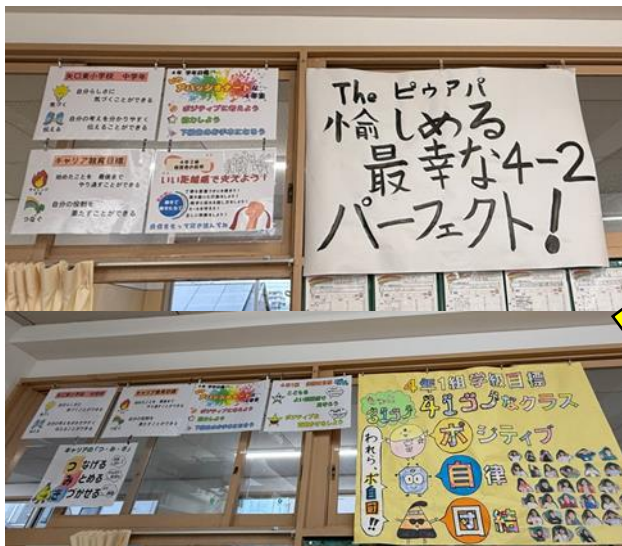
(1) クラスの個人目標
 学級目標を決める前に、まず、一人一人が、
 どんなクラスにしていきたいか、この思いをも
 つことが必要です。





(2) クラスの全体目標

どんなクラスを作っていきたいか、皆で考えた学級目標は学級づくりには欠かせません。



4年生では、学年集会で決めた学年目標の他に保護者会で話し合った保護者目標も掲示してあります。



4 学級会



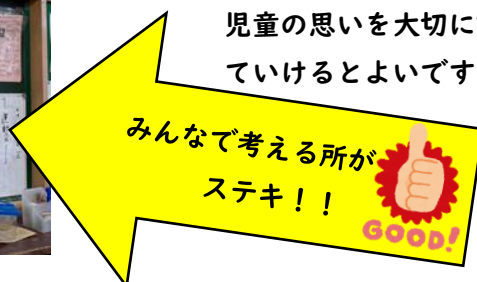
(1) 学級会の計画や報告

学級会をどう進めていくか、どんなことをしたか児童としっかり共有できるように掲示がしてあります。



(2) クラスのマスコットキャラクター

よりよい学級をつくっていくために、学級のマスコットキャラクターを考える。そういった児童の思いを大切に議題を設定し、学級会をしていけるとよいです。



5 クラスでの取り組み

(1) 読書活動の充実

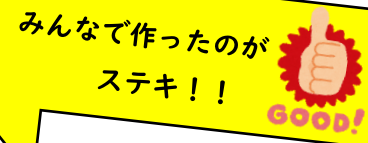
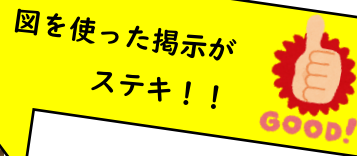
「めざせ10万ページ」という目標をクラスで設定し、読書活動を活性化させようとしています。

現在、どこまで到達しているか確認できるように掲示も工夫されています。



(2) 思いの共有

学級内で大切にしていきたいことは、掲示をすると、共有や確認がしやすくなります。



(3) クラス年表づくり

この一年間どんなことをするか、児童たちと一緒に確認しながら年表を作ると、年間の見通しをもてます。



(4) キラキラカード

学級目標やクラスで大事にしていることができている瞬間を児童同士が褒め合い、認め合う機会をつくっています。



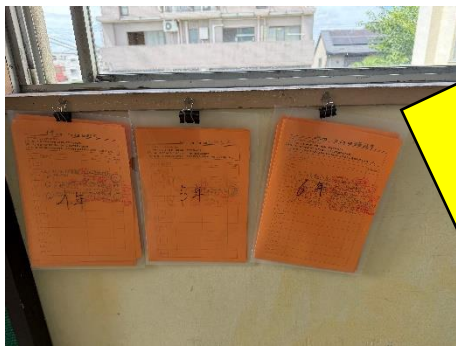
6 クラブ活動



(1) クラブコーナー

クラブ長を中心に計画を立てて、それを掲示しています。クラブのメンバーはそれを自分たちで確認して次の準備を自主的にすすめることにつながっています。

計画の見える化が
ステキ！！



(2) クラブカードの活用

計画で見通しをもったり、めあてや振り返り、周りのよいところで自分たちの成長を実したりできます。

振り返り活動が
ステキ！！



7 委員会活動



(1) 委員会コーナー

委員会の活動の様子を掲示することで、自分たちの活動を振り返ったり、他の委員会の活動を知ったりする機会になります。

また1～4年生も高学年の取り組みを知ることができます。

活動の見える化が
ステキ！！



(2) サービス活動の充実

水やりや飼育などの常時活動だけでなく、名前を決めたり、ポスターを貼ったり、自分たちで必要を感じ、よりよい活動にするために自由な発想でサービス活動を行っている様子が分かります。

児童の発想が
ステキ！！





研究授業報告

先日は高学年分科会研究授業の研究授業がありました。先生、高学年分科会の先生方ありがとうございました。授業や全体会の様子を改めて報告します。

研究授業 高学年分科会

6月18日(水) 音楽科「ボイスアンサンブルをつくろう」

授業者 音楽専科

主任教諭

講師 筑波大学 人間系教授 藤田 晃之 先生

1 本時の目標

- ・音の重なりや音楽の縦と横の関係が生きるような表現を工夫して、「なか」をつくる。

2 キャリア教育目標との関連 (キャリア^つ)★

本単元は「ベース」「合いの手」「かざり」の三つのリズムを基に、音楽の縦と横との関係・音の重なりを意識して音楽を構成していくことを友達と相談しながら、音楽でつながっていく単元である。これは高学年のつなげる力「人・もの・ことのために行動できる」と関連が深い。

3 授業の様子



グループごとに曲の構成を工夫するために、ヒントカードを示す。



グループごとのキャリアカウンセリングで疑問を解決し、価値付ける。

【授業者自評】

音楽づくりの力をつけさせるため、楽しみながらも試行錯誤してアンサンブルの構成ができるように、独自の題材で授業を行った。ねらいにせまる振り返りと共に、「つなげる力」に関連付けて、振り返りを書いている児童も多くいた。中間発表では、工夫したところが聴いているほかの班の児童にもはっきりと分かる演奏ができるように、事前にアドバイスしてあげられればよかったと思う。

協議会の視点

- 1 教科の目標にキャリア教育の目標の「つなげる力」は関連付いていたか。
- 2 キャリアカウンセリングとガイダンスによって児童にどのような変容があったか。

成果

- キャリアカウンセリングとガイダンスで肯定的な声掛けや児童の考えを価値付けることで、児童が意欲的に取り組んでいた。
- 前時までの振り返りカードに丁寧にコメントを書くことで、本時への児童の興味関心を高めている。

課題

- 授業のまとめで本時のねらいに沿った振り返りができている児童を取り上げたが、教科の目標の視点に、キャリア教育目標を関連させて価値づけるとより効果的である。




～高学年分科会 研究授業報告～

3年1組 授業者

国語 「まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう」「こまを楽しむ」

◎本時の目標

自分が一番遊んでみたいこまと、その理由を考え、伝えることができる。

★重点キャリア教育目標…  伝える力

〈授業のポイント〉

自分が遊んでみたいこまとその理由を考え、伝え合う活動を通して、伝える力(自分の考えを分かりやすく伝える)をつけていきたい。

【成果】

- ・ほとんどの児童が遊んでみたいこまとその理由について書くことができていた。
- ・オクリンクでヒントカードを配布することで、どこから読めば分からない児童や書くことができない児童にはよかった。

【課題】

- ・電子黒板に写すだけでなく、板書に今日の活動や、理由、質問・感想の例などを書いておいたほうがよかった。
- ・教科書に線をひいたり、ノートにまとめたりするという本時に至るまでの指導の積み重ねを大切にすることが必要があった。




3年2組 授業者

教科「大田区のみりよくを伝えよう」

◎本時の目標

社会科見学で学習した大田区の魅力を2年生に伝える。

★重点キャリア教育目標…  伝える力

〈授業のポイント〉

- ・社会科見学で訪れた見学場所の魅力を、2年生に紹介して、来年度の学習に意欲をもてるようにする発表方法をくふうする。(ICT機器の活用など)

【成果】

- ・場の作り方がよかった。2年生からの感想もよいものが多かった。

【課題】

- ・子ども同士で「つみき」意識した活動にしていくとよい。



4年1組 授業者

社会「わたしたちのくらしとごみ」

◎本時の目標

○自分たちでできるごみのSDGsについて伝え合い、

これからの生活に生かせそうなことを考えよう。【思】

★重点キャリア教育目標…  つなぐ力・  伝える力

〈授業のポイント〉

児童の気付きや疑問から授業計画を作成し、単元の最後には「自分たちでできるごみのSDGs」について実践をしたいという意見が出た。その思いを生かし、各自の取り組みを交流し、今後の生活について考えた。

【成果】

- ・児童の取り組みに対して、価値づけたり、水の学習とのつながりに気付かせたりしているのが良かった。
- ・ゲストティーチャーを活用しながら、学習への関心を高めることができていた。

【課題】

- ・活動内容が多いので、代表児童やゲストティーチャーの話などを精選していけるとよい。



4年2組 授業者

学級活動(1) 議題「4-2学級旗をつくろう！」

◎本時の目標

学級旗の文字や言葉について、相手の意見を受け止めながら自分の考えを伝え合うことができる。【思】

★重点キャリア教育目標… 伝える力



〈授業のポイント〉

話し合いの中での合意形成は、自身の考えや願いなどを素直に話し、相手のそれを受け止めることで成り立つ。他者とのコミュニケーションを通じて、考えを伝え受け止め合い、考えを深めていく姿勢を育てられた。

【成果】

- ・自主的、実践的な学習であるため、助言のタイミングは難しいが、ここぞという場面で助言していたため、児童の思考が整理されて話すことができていた。
- ・2つの案で平行線を辿った際、2つの案を合体した案が出て、そこで話し合いが収束に迎えたのがよかった。

【課題】

- ・1時間の中で「話し合うこと」を2つは話し合えるようにしたい。収束させることよりも、自分の考えを主張し通したいと思う児童がいたため、決まるまで時間がかかってしまう。日常でも合意形成を図っていく。

図工 授業者

A 表現(2)「夢のツリーハウス」

◎本時の目標

いろいろな種類の紙の色、質感などの違いのよさから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。【思】

★重点キャリア教育目標… チャレンジする力



〈授業のポイント〉

自分の発想を形にする過程では、やり始めたこと(最初に思いついたこと)を形にする以外にも、うまくいかなかったことについて、方法を変えて形にすることも考えられる。その子の考えた過程を認めながら(キャリアカウンセリング)自分の発想を大切にできるようにする。

【成果】

- ・題材名が子供たちの意欲を高め、自分なりの発想をするきっかけになった
- ・子供の活動がスムーズになるよう準備されていた。

【課題】

- ・2, 3回目以降の授業についても、意欲を高めながら作品作りに取り組むための投げかけや準備が重要である。



分科会のまとめ

- ・教員の「つみき」の視点での声掛けは意識できてきた。
- ・児童同士でも、特に交流場面において「つみき」の視点で声掛けができるようにしていきたい。
- ・キャリア教育目標を意識させるということを日々の活動で行っていると児童からも、「〇〇の力」につながっているということが言えるようになってくる。



一学期も残りわずかとなりました。各教科でまとめや振り返りをし、各学級でも一学期全体の振り返りかえりをしたと思います。こどもたちもそうですが、私たちもしっかりと今学期を振り返り、成果や課題を分析し、二学期に生かしていきましょう！

また、この夏に研究発表に向けての準備をしっかりしておきましょう！

Ⅰ 研究発表までのスケジュール

月	日	曜日	内容	担当・講師等
7	16	水	指導案修正 管理職がチェックしたものを修正する。	各自
			一学期授業報告 夕会で各分科会の授業報告を行う。	授業部
			キャリア・パスポートの事例集め 一学期の取り組みのベストワンをPDF化して保存する。 各担任は、昨年度までのものも何種類か保存しておく。 ※特に展覧会や核となる単元についてのもの。	各自 振り返り部で 保存されているか確認
7	18	金	指導案検討① 研究発表の授業提案をし、講師の先生からアドバイスをいただく。	講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生
7/31 (木)	締め切り		指導案修正 藤田先生からのアドバイスをもとに分科会で相談し、指導案を修正する。	各自 へ提出
8/27 (水)	締め切り		★キャリア教育全体指導計画の掲示 (1) 今年度版に修正をする。 (2) 画用紙(職員室印刷機横)に2×2のポスター印刷をする。 (3) 年計の教室廊下に掲示した単元にシールを貼る。	各学年 8/28 (木) 環境部チェック
	※この日までに 学年や 各部で確認を しておく。		★研究発表用資料作成 各部で確認したものを提出。 ・リーフレット ・スタートアップガイド ・発表用プレゼン(30秒程度の内容) ※研究発表当日プレゼンに保存	各担当 8/28 (木) 環境部チェック 管理職へ提出
9/5 (金)	締め切り		指導案修正 研推長、管理職がチェックしたものを修正する。	各自
9	8	月	指導案検討② 指導案で最終確認したいところを講師の先生と相談する。	講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生
9/12 (金)	締め切り		★指導案修正 指導案検討②をもとに指導案を修正し、 へ提出。	各自 が指導課 へ提出
			★研究発表用資料修正 管理職から戻ってきた資料を修正して へ提出。	担当 が指導課 へ提出
9	24	月	14:30~ 各教室前掲示板の掲示物を掲示する。 教室内の掲示物も整える。 ※各学年で必ずチェックをする。	各学年 環境部チェック
10/3 (金)	締め切り		指導課から戻り次第、それぞれの原稿を修正する。 修正したら へ提出。 先生が7日までに さんへ指導案の印刷依頼をする。(10/14までに印刷)	各自 10/17 (月) が印刷会社 へ送付

10	29	水	14:30～ 研究発表第一部 リハーサル ※指導課のリハはもう少し前	各分科会
11	5	水	研究発表準備 立て看板・演目・案内表示・第二部用机表示（講師、来賓、パネラーなど） などはこの日までに準備しておく。	環境部提案
11	6	木	研究発表 1 授業公開 2 分科会ごとの説明会 3 パネルディスカッション	講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生 文部科学省 調査官 東北大学 教授 長田徹先生
11	中旬		事後検討会 研究発表についての振り返りを行う。	各部 各分科会

2 研究発表当日

(1) 流れについて

【研究授業】13:30～14:15 ※全学級公開

教科については、研究便り7号参照

【移動・休憩】14:15～14:25

【講演会】14:25～16:30 ※参加者に所属（学年、教科等）も聞いておく。

◎第一部 「本校の研究について」14:25～14:50（25分程度）

※15:00の講演会への移動が間に合うように終了する。

①発表場所：低学年【多目的室】中学年【体育館前方】高学年【体育館後方】特別支援【五組教室】

②発表内容（15分）：キャリア教育とは、キャリア教育目標、年間指導計画や環境整備、
キャリア・カウンセリングや振り返り活動、授業について等

③質疑応答（10分）：Google Form、付箋を併用（タブレット、携帯電話使用可）

◎第二部 「講演会」15:00～16:30

テーマ【キャリア教育、はじめの一步】 90分

①場所：体育館

②司会：藤田晃之先生、パネラー：長田徹先生、研究主任、教員でパネルディスカッション

藤田先生が司会をして、パネラーが答えていく。※第一部で集めた質問をもとに

長田先生は全国の理論や好事例を中心に、研究主任が本校の研究を中心に教員は初めてキャリア教育をすすめるにあたっての課題や気付きなどについても触れる。

③キャリア・カウンセリングのロールプレイ

④エンドロールで長田先生が作成した本校の研究のあゆみを流す。

(2) 当日の仕事分担

受付・案内…事務・用務員・PTC

授業者…授業発表 ※授業者以外の教員は分担して写真を撮る。1年生の下校補助をする。

第一部運営…司会、プレゼン説明、記録（質問集約含む）をお分科会で分担

記録は、質問をまとめて藤田先生に渡す。

※各授業者は授業について1分以内で説明。

第二部運営…プロジェクター、スクリーンの調整（ ）

音響（ ） フロアー（ ） アンケート回収（ ）

パネラーとして、



～特支分科会 授業観察報告～

五組3～6年 授業者

音楽科 「リコーダーのひびきをかんとろう」

◎本時の目標 タンギングを使った音の出し方に気付き、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。

★重点キャリア教育目標…◎チャレンジ ○つなぐ
〈授業のポイント〉

「シ」の音のみを使い「はじめから終わりまで一曲演奏できた」という経験を積ませることで、苦手なことにチャレンジする力を養いたい。

【成果】

- ・見通し、めあてが明確なので、自分から取り組んでいた。
- ・どの子も安心して参加しやすい。楽しくのびのびと成長していた。

【課題】

- ・T2や介添員の役割を明確にしていく。



五組1～6年 授業者

生活単元学習 「お仕事大作戦」

◎本時の目標 全・自分がしている仕事（お手伝い）を紹介する。
高・友達の仕事のいいところを見つける。

★重点キャリア教育目標…★伝える つなぐ チャレンジ
〈授業のポイント〉

ワークシートを高学年・低学年用に二種類作り、個に合ったワークシートを活用する。友達の良さに気付き、自分の仕事に取り入れてみようと思える環境を作る。

【成果】

- ・伝えることで気付くことができた。キャリアにもつながっていた。
- ・シールを貼ることで「つたえる」「きづく」「チャレンジ」を意識できている児童が多いことが分かった。

【課題】

- ・低学年はキャリアシールを選ぶことは初めは難しい。この活動を続けて、徐々に理解していけたらよい。



五組2～6年 授業者

生活単元学習 「ピカピカ おそうじ だいさくせん」

◎本時の目標 ・ほうきの正しい持ち方を知り、そうじができるようにする。

★重点キャリア教育目標…★気づく チャレンジ

〈授業のポイント〉

自身のやるべきことに気づけるように視覚的支援をする。

掃除の流れや方法について確認をし、応えさせ苦手な話を聞くことについて取り組む場面を設定する。

【成果】

・まとめて実際にほうきを持ってやってみせた。伝わりやすかった。

【課題】

・教材研究や児童理解を通して、児童に合う方法を見つけていく。

・めあてをあまり意識できていない発言が多かったので、振り返りで無理やり出させた形になった。

・学習環境を整える。



五組1、3年 授業者

生活単元学習 「せんせいしらべ」

◎本時の目標 インタビューを通して、学校で働いている人について知る。

★重点キャリア教育目標…★つなぐ チャレンジ

〈授業のポイント〉

インタビューの仕方について児童の前でやってみせることにより、方法を理解できるようにする。学校にはいろいろな人がいるということに目を向けられるようにする。

【成果】

・視覚支援、普段から行っているのでこどもたちも慣れていた。

・一度行えたという経験から、今後またインタビューを発展させていけるとよい。

【課題】

・質問が決まっていたので、どのようなことを聞きたいか、こどもたちから出させてもよかった。



～特支分科会のまとめ～

○できたことを褒めたり認めたりしながらスモールステップを積み重ね、「チャレンジする力」を培っていく。

○主体的に取り組むための工夫として、視覚支援を行い、見通しをもたせた授業展開を行った。

○キャリアカウンセリングを意識した授業展開を工夫することで、児童のつぶやきや気づきを拾い、対話しながら学習につなげることができた。

○今後も児童理解を深め、一人一人の課題に合った学習方法を工夫していくことが課題である。



～高学年分科会 研究授業報告～

5年2組 授業者

理科「魚のたんじょう」

◎本時の目標 ○解剖顕微鏡を正しく扱いながら、メダカの卵を観察し、適切に記録することができる。【知】

★重点キャリア教育目標…チャレンジする力



〈授業のポイント〉

器具の扱いや記録の方法を意識させながら、観察記録から考えを共有できるような場を設定する。

【成果】

- ・子どもたち同士で観察結果を見比べ、並び替える活動がよい交流の場になった。
- ・受精卵を実際に観察できることがよい。解剖顕微鏡を増やせたら更により。

【課題】

- ・考察の視点が甘かった。次の観察への新しい疑問になるような気づきを促したい。



6年1組 授業者

学級活動(1)「七夕集会をしよう」

◎本時の目標 ○提案理由に沿って、考えを伝え合っている。

★重点キャリア教育目標…気づく力



〈授業のポイント〉

話し合いの中での全体に広げたいよさや次に生かす課題を終末の助言で具体的に伝える。

【成果】

- ・一時間のなかで、全員が納得のうえで合意形成をすることができた。

【課題】

- ・発言する人数に偏りがあった。発言しやすい環境や事前に用意するような声掛けをしたい。



5年1組 授業者

書写「部分の組み立て①による」

◎本時の目標 ○「による」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。

★重点キャリア教育目標…伝える力



〈授業のポイント〉

「による」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことの理解を深める。

【成果】

- ・墨を磨ることで、濃くなることはもちろん、集中力が高まった。

【課題】

- ・文字を間違えている児童がいたので、一人ひとりを漏らさずに見る。



6年2組 授業者

おおたの未来づくり「こども会を盛り上げよう！」

◎企画を実行するために準備をしよう。

★重点キャリア教育目標…つなぐ力



〈授業のポイント〉

コンセプトに合った企画になるように教員が適宜声掛けをする。

【成果】

- ・こどもたちが考えたコンセプトとキャリア教育とを関連させながら、児童に意識付けができた。
- ・地域とこどもたちがつながる単元だったため、教員も児童も自然とキャリア目標への意識ができていた。

【課題】

- ・おおたの未来づくり科としては、地域の人に企画を提案するなど、もっと地域と協力を行う必要がある。



分科会のまとめ

- ・5年も6年もキャリア教育目標には慣れてきているので、さらに発展させた授業を展開する必要がある。
- ・高学年は学習内容や毎時の活動も高度になるため、考えさせる場面の精選や、ルーティン化が必要。
- ・こどもたちに委ねる割合の方が高いため、どんなフォローや声掛けをするか考える必要がある。



一学期が終わり、夏休みとなります。この一学期のこどもたちはいかがでしたか。
 二学期には研究発表もあります。この夏は研究に向けての準備をしっかりといきましょう。
 教職員一同力を合わせて、頑張っていきましょう！

I スケジュール

月	日	曜日	内容	担当・講師等
8/27 (水)	締め切り	※この日までに学年や各部で確認をしておく。	★キャリア教育全体指導計画の掲示 (1) 今年度版に修正をする。 (2) 画用紙(職員室印刷機横)に2×2のポスター印刷をする。 (3) 年計の教室廊下に掲示した単元にシールを貼る。	各学年 8/28 (木) 環境部チェック
			★研究発表用資料作成 各部で確認したものを提出。 ・リーフレット ・スタートアップガイド ・発表用プレゼン(30秒程度の内容) ※研究発表当日プレゼンに保存	各担当 8/28 (木) 環境部チェック 管理職へ提出
9/5 (金)	締め切り		指導案修正 研推長、管理職がチェックしたものを修正する。	各自
9	8	月	指導案検討② 指導案で最終確認したいところを講師の先生と相談する。	講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生
9/12 (金)	締め切り		★指導案修正 指導案検討②をもとに指導案を修正し、 へ提出。	各自 が指導課 へ提出
			★研究発表用資料修正 管理職から戻ってきた資料(リーフレット、スタートアップガイド、発表用プレゼン)を修正して へ提出。	担当 が指導課 へ提出
9	24	月	14:30~ 各教室前掲示板の掲示物を掲示する。 教室内の掲示物も整える。 ※各学年で必ずチェックをする。	各学年 環境部チェック
10/3 (金)	締め切り		指導課から戻り次第、それぞれの原稿を修正する。 修正したら へ提出。 先生が さんへ指導案の印刷依頼をする。(10/14までに印刷)	各自 10/17 (月) が印刷会社 へ送付
10	15	水	指導課チェック 14:00~ ※特別時程 掲示物(教室内、廊下、校内全体)、発表、分科会	各学年 分科会
10	29	水	14:30~ 研究発表第一部 リハーサル ※指導課のリハはもう少し前	各分科会
11	5	水	研究発表準備(会場準備、受付、表示、点検) ※立て看板・演目・案内表示・第二部用机表示(講師、来賓、パネラーなど)などはこの日までに準備しておく。	環境部提案
11	6	木	研究発表 1 授業公開 2 分科会ごとの説明会 3 パネルディスカッション	講師 筑波大学人間系教授 藤田晃之先生 文部科学省 調査官 東北大学 教授 長田徹先生
11	中旬		事後検討会 研究発表についての振り返りを行う。	各部 各分科会

2 当日までの準備

項目	内容	担当	締め切り
指導案	指導案作成・修正	授業者	指導案修正 9/5 (金) 指導課からの直し修正 10/3 (金)
	指導案点検	授業部	10/7 (火)
	指導案印刷		10/14 (金)
配布資料	リーフレット・ガイドブック作成	各部の担当	8/27 (水) 各部の長にこの日までに チェックをもらう
	印刷業者への送付		10/17 (月)
当日発表プレゼン	プレゼン作成	各担当	8/27 (水) 各部の長にこの日までに チェックをもらう
アンケート	授業、研究全体に関わる 質問用の Google フォーム		
	質問、感想用紙 Google フォームも作成し 載せる		
外部との調整 参加者管理 (名簿整理)	パイプ椅子を借りる PTC への依頼(案内、誘導) 用務員、事務棟への依頼 (受付、当日、駐輪場等)	副校長・	9/30 (火)
環境整備	学年掲示板 (年計)	各学年 ※写真が12種類ない学年 は前年度の学年担任が貼 る。	8/27 (水)
	教室廊下、内掲示	各学年	9/24 (月)
	立て看板、校舎内案内表 示作成(第一部、第二部へ の経路案内含む)・撮影禁 止の表示、駐輪場、受付な ど		10/29 (水)
	校内清掃	用務員	
	校内掲示物点検	・	9/24 (月)
	当日体育館会場図		8/27 (水)
	受付名簿		11/4 (火)

3 前日準備

項目	内容	担当
会場設営	体育館椅子並べ 来賓・教職員・参加者 舞台上セッティング スクリーン、プロジェクター、司会 (長机、パイプ椅子)、パネラー(長 机机、パイプ椅子3脚)	高学年部会(チーフ)
	多目的室椅子並べ 大型テレビ、長机等設置	低学年部会(チーフ)
校舎内	表示、経路(第一部、第二部の場所 案内含む)、控室(図書室)準備	中学年部会(チーフ)
	校舎内外清掃	用務員
校庭	テント・駐車場ライン	特別支援部会(チーフ)
	テント内 受付机、名簿	事務、 、

4 当日

項目	内容	担当
授業・授業前後	研究発表授業	授業発表
	写真撮影	・
	児童の下校準備・下校補助	・ 講師・支援員
受付・案内	受付・誘導	事務・用務員・
	駅からの誘導 駐輪場誘導	PTC
	電話対応	
第一部	低学年運営 (多目的室)	司会()記録() プレゼン説明() 授業説明(各授業者)
	中学年運営 (体育館前方)	司会()記録() プレゼン説明() 授業説明(各授業者)
	高学年運営 (体育館後方)	司会()記録() プレゼン説明() 授業説明(各授業者)
	特別支援運営 (五組)	司会()記録() プレゼン説明() 授業説明(各授業者)
第二部	全体司会	副校長
	謝辞	校長
	パネルディスカッション	司会：藤田先生 パネラー：長田先生、 、
	プロジェクター、スクリーン	・
	音響・照明	
	フロアー管理	
	アンケート回収	

5 当日タイムスケジュール ※特別時程

時間	項目	内容	
12:00	給食	準備	
12:15		給食	
12:40		片付け	
12:45	昼休み	下校準備	
		休み時間（教室のみ）	
13:30	授業		
14:15	下校	下校誘導	1年1組 1年2組 2年1組 2年2組 3年 . 最終下校確認は . で行う
	第一部準備	発表準備	各分科会
	第二部準備	Google アンケート印刷 第一部の間に行い、藤田先生へ渡す	.
14:25	第一部	プレゼン説明	司会・各分科会のプレゼン説明担当
14:30		授業紹介（一人1分以内）	各授業者
14:35		協議会 記録者は質問を記録して藤田先生に第二部前に渡す	司会 記録
14:50	第二部準備		
14:55		来賓・講師誘導	校長
15:00	第二部	来賓紹介・司会	副校長
		パネルディスカッション	全体司会：副校長 司会：藤田先生 パネラー：長田先生、 、 スクリーン・プロジェクター（ . ） 音響・照明（ ） フロアー（ ）
15:45		キャリア・カウンセリングのロールプレイ	長田先生
16:15		エンドロールムービー	長田先生
16:25		謝辞	校長先生



二学期がスタートしました。こどもたちの様子はどうか。

先日、先生と先生がOJT研修会をしてくださいました。どちらも大切なのは、児童の実態をもとに行っていくということ、児童の思いを大切にしながら、まずはやってみるということ、そして私たち教員が伴走者というスタンスで関わるのかなと思いました。「自分からやってみよう」につながるように、それぞれのよい取り組みを取り入れながら頑張っていきましょう。

1 各部から

(1) 全教育活動

- ・マグネットの活用 ※マグネットの点検
- ・当日指導案と9月8日の最終協議

(2) 特活パワーアップ

- ・学級会を各クラスで実践していく。
- ・二学期の係活動スタート ※係カードの掲示

(3) 振り返り&キャリア・カウンセリング

- ・「キャリア・パスポート」の回収
- ・二学期のめあての記入、掲示

(4) 環境

- ・年間指導計画の掲示
- ・廊下の掲示板 9月24日14:30~15:30まで ※その後、学年点検→担当点検
- ・当日の会場

2 当日第一部について

- ・役割の確認 司会・記録・プレゼン説明・授業説明（各授業者）
- ・説明スライド

3 当日第二部について

- ・第二部の予想される質問とそれに対する、回答



研究発表まで残り一カ月となりました。廊下の掲示ありがとうございました。

指導課の方にも皆さんが作成してくださった指導案やリーフレット、ガイドブックを見ていただきました。最終調整をして、準備を整えていきましょう。

1 各部から

(1) 全教育活動

- ・当日指導案の最終修正 10月2日までに保存場所に修正した指導案を入れてください。

データ場所 研究→R7年度→指導案→★学習指導案集(指導課修正案)0930

保存場所 研究→R7年度→指導案→★指導課提出② 1002まで

10月3日に授業部チェック、その後 が指導課に提出

(2) 特活パワーアップ

- ・学級目標や係カードの掲示
- ・学級会や係活動などの実践状況
- ・クラブ・委員会掲示板の有効活用 () 担当

(3) 振り返り&キャリア・カウンセリング

- ・「キャリア・パスポート」を置く。
- ・二学期のめあての掲示 ※不登校児童の掲示物の対応を保護者に確認。

(4) 環境

- ・年間指導計画の掲示。 修正したものをA3に印刷して、掲示板に掲示。 10月9日まで
※10月15日の指導課のチェック後、最終調整をしてA3画用紙にポスター印刷をして掲示する。
→10月29日まで
- ・廊下、教室の掲示の点検
- ・当日の会場

2 当日第一部について

- ・役割の確認 司会・記録・プレゼン説明・授業説明(各授業者)
- ・説明スライド(修正案)

10月6日に全体で確認→10月15日までに各分科会で練習→修正→10月29日最終演習

※この日に第二部も演習

3 当日第二部について

第二部の予想される質問や現段階でアンケートに投稿された質問とそれに対する、回答案

- ・キャリア教育を行う上で大切にしていること、意識していること
- ・キャリア教育の実践例(授業や特別活動など)
- ・キャリア教育を行う上で大変なことや苦勞したことはあるか。
- ・リーフレットには載っていないキャリア教育の効果はあるか。
- ・特別支援教育におけるキャリア教育

裏面に続く

- ・小中の連携
- ・日々の学校生活でキャリア教育を意識させるためには
- ・教員間でどのように連携しているか
- ・キャリア教育と未来づくりの関連性
- ・キャリア教育において小学校段階で身に付けたいこと、ねらいこと
- ・どのような取り組みをしているか
- ・毎時間全部の時間で取り組んでいるのか
- ・キャリア・パスポートの活用方法
- ・

4 リハーサルについて 場所・流れ

5 準備について 11月5日の5時間目 6年児童と一緒に

6 片付けについて 11月7日の5時間目 5年児童と一緒に



リハーサルありがとうございました。いよいよ来週が研究発表となりました。子どもたちや先生の今まで積み上げてきたことが伝わる研究発表になるよう皆さんのお力をお貸しください。よろしくお願いいたします。

I 前日準備 13:15 体育館集合をして全体説明 13:25～作業開始

項目	内容	担当
会場設営	体育館椅子並べ 来賓・教職員・参加者 舞台上セッティング スクリーン、プロジェクター、司会 (長机、パイプ椅子)、パネラー(長 机、パイプ椅子3脚) バタフライ机9台(来賓用) 五組の児童机2台(記録用) 矢東のパイプ椅子に青シールを貼 る。 体育館の上手・下手内の整理 (モップなど)	高学年部会(チーフ) 中学年部会(チーフ) 6年児童
	多目的室椅子並べ 大型テレビ、長机等設置 立ち入り禁止のバー (A, B, D 階段)	低学年部会(チーフ) 6年児童
	(五組教室)	パイプ椅子を60脚、置いておく。
校舎内	表示、経路(第一部、第二部の場所 案内含む)、控室(図書室)準備	先生
	校舎内外清掃	用務員
校庭	簡易式テント(2機) ※水で重り 駐車場ライン・表示	特別支援部会(チーフ)・用務員
	テント内 受付机、名簿 バタフライ机3台(受付用) ※雨天時は低学年靴箱内	事務、

各教室の準備もお願いいたします。

教室の掲示で追加したものがある場合は、付箋等で分かるようにしておいてください。
(指導課がこの日に最終チェックをします。)

※裏面もあります。

2 当日

項目	内容	担当
授業・授業前後	研究発表授業	授業発表
	写真撮影	・
	児童の下校準備・下校補助	・ 講師・支援員
受付・案内	受付・誘導	事務・用務員・
	駅からの誘導 駐輪場誘導	PTC
	電話対応	
第一部	低学年運営 (多目的室)	司会 () 記録 () プレゼン説明 () 授業説明 (各授業者)
	中学年運営 (体育館前方)	司会 () 記録 () プレゼン説明 () 授業説明 (各授業者)
	高学年運営 (体育館後方)	司会 () 記録 () プレゼン説明 (中学年合同) 授業説明 (各授業者)
	特別支援運営 (五組)	司会 () 記録 () プレゼン説明 () 授業説明 (各授業者)
第二部	全体司会	副校長
	謝辞	校長
	パネルディスカッション	司会：藤田先生 パネラー：長田先生、 、
	プロジェクター、スクリーン	・
	音響・照明	
	フロアー管理	
	アンケート回収	

※裏面もあります！

3 当日タイムスケジュール ※特別時程

時間	項目	内容	
12:00	給食	準備	
12:15		給食	
12:40		片付け	
12:45	昼休み	下校準備	
		休み時間（教室のみ）	※13:00 前に来た方は門の前で待っていただく。（警備：用務員 プール門、正門）
13:00	受付開始	受付	門開錠（用務員） 受付（ 、 、 、 、 、PTC、） 応援スタッフ：こどもひろば
13:30	授業		
14:15	下校	下校誘導	1年1組 1年2組 ・ 2年1組 2年2組 3年 ・ 最終下校確認は ・ で行う
	第一部準備	発表準備	各分科会
	第二部準備	Google アンケート印刷 第一部の間に行い、藤田先生へ渡す	・
14:25	第一部	プレゼン説明	司会・各分科会のプレゼン説明担当
14:30		授業紹介（一人30秒以内）	各授業者
14:35		協議会 記録者は質問を記録する。	司会 記録 ※ 先生が2部ずつ印刷する。
14:50	第二部準備		体育館誘導 （ 先生・ 先生・ さん・ さん）体育館以外にいる方がいないか確認 先生は記録や質問を藤田先生机上、へ。
14:55		来賓・講師誘導	校長
15:00	第二部	来賓紹介・司会	副校長 (準備) 演台： ・ 上手机・椅子： ・ ・ 下手机・椅子：
		パネルディスカッション	全体司会：副校長 司会：藤田先生 パネラー：長田先生、 、 スクリーン・プロジェクター（ ・ ） 音響・照明（ ） フロアー（ ） スポットライト： 、
15:45		キャリア・カウンセリングのロールプレイ	長田先生
16:15		エンドロールムービー	長田先生
16:25		謝辞	校長先生
		片付け・退場	出口扉： 、 アンケートBOX： 、



研究発表会おつかれさまでした。様々な出来事があり、忙しく大変なこともあったかと思いますが、皆さんのおかげで研究発表会を終えることができました。この研究発表会を通して矢東のチーム力を改めて感じました。皆様本当にありがとうございました。

ここで、ご参加いただきました皆様からのアンケートの回答をまとめたものを共有いたします。実際のアンケート用紙やフォームでの回答も回覧いたします。研究の貴重な他者評価として、今後の研究に生かしていければと思います。

【ご参加の方々のアンケートの回答】

(・は良い点 ◆は課題や質問)

Ⅰ 研究の柱

① 学校教育活動全体でのキャリア教育

- ・児童が生き生きと（前向きに、楽しそうに）活動していたのが印象に残った。（多数）
- ・主体的に「気づく・伝える・チャレンジする・つなぐ」を意識して取り組む様子が見られた。（多数）
- ・児童がすすんで、肯定的・対話的にかかわりあっていた。（多数）
- ・自分の意見をもって伝える姿がよかった。（多数）
- ・指導の積み重ねを感じた。（多数）

◆どのように4つの力を児童に意識させ、振り返りをさせるか。

◆評価の仕方

② 振り返り&キャリア・カウンセリング

- ・「キャリア・パスポート」への丁寧な教員のコメントがよかった。（多数）
- ・「キャリア・パスポート」や活用方法がとても参考になった。（多数）
- ・「つみき」の視点が分かりやすく良かった。（多数）
- ・これまでの成果物や振り返りカードなどが綴じられていて、児童自身が成長に気づくことができるファイルだと思った。（複数）

◆「つみき」の視点をどのように発達段階に合わせて行っていくか、児童がどのように活用するか。

◆全校での共通理解の仕方、綴じるだけでなく活用する方法

◆「キャリア・カウンセリング」を行う時間の確保

◆「キャリア・パスポート」の小中の連携

③ 環境整備

- ・キャリア教育の年間指導計画が単元とキャリア教育とのかかわりがよく分かり、いいと思った。（複数）
- ・廊下や教室の掲示物がとても参考になった。（複数）
- ・写真を多く取り入れているのがよかった。（複数）

※課題や質問は特に上がっていませんが、今後どのようにしていくとさらによくなるか考えたいです！

④ 特別活動パワーアップ

- ・構内で学級会グッズをそろえているのがよかった。
- ◆どのように一人一人が学級会で意見を言えるようにしていくか、合意形成していくか

裏面につづく→

2 研究発表会

① 第一部分科会

- ・スライド等で分かりやすく説明されていてよかった。(多数)

② 第二部パネルディスカッション

- ・非常に分かりやすく、勉強になった。(多数)
- ・講師の先生方の話や矢東の研究の詳細や実際の声が聞けてよかった。(多数)
- ・「キャリア・パスポート」の活用の話が特に印象に残った。これからは生かしたい。(多数)
- ・キャリア・カウンセリングについて実際に演習ができたのがよかった。明日からの声掛けで意識していきたい。(多数)

3 研究全体

① 研究の内容等

- ・4つの力が児童にも教員、地域にも分かりやすく、自己評価がしやすくよかった。(多数)
- ・キャリア教育に対して誤解していた部分が明確になり、理解が深まった。(多数)
- ・全教科での授業公開によって日々のキャリア教育の大切さがよく分かった。(多数)
- ・キャリア教育の意義やどうやって行っていけばよいかがよく分かった。これから実践していきたい(多数)
- ・研究テーマが児童にも大人にも分かりやすい具体的な姿でよかった。(複数)

② 資料・運営

- ・矢東は大人も児童も雰囲気やチームワークがよい。(多数)
- ・スタートアップガイドやリーフレットが分かりやすく、参考になった。(多数)
- ・誘導が分かりやすくよかった。

